

令和3年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○ 海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。

地 区	回 数	受講者数
門 司 ・ 下 関 地 区	5	100
有 明 海 地 区	2	37
長 崎 地 区	4	150
白 杵 地 区	1	39
長 門 地 区	1	18
萩 地 区	1	50
合 計	14回	394人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した地区については、書面講習を実施した。

地 区	受講者数
福 岡 地 区	23
宇 部 地 区	36
洞 海 地 区	58
芦 屋 地 区	17
ひ び き 灘 地 区	88
唐 津 玄 海 地 区	28
伊 万 里 湾 地 区	57
佐 世 保 地 区	19
対 馬 地 区	33
大 分 地 区	48
津 久 見 地 区	33

西 港 地 区	1 3
福岡県海洋スポーツ協会	3 2
個 人	3
合 計	4 8 8人

(2) 安全講習会受講旗配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗を各保安部署を含め898枚配布した。

また、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員に安全講習会受講証を関門地区・個人及び各保安部署に22枚配布した。(令和3年度赤色)

(3) 小型船夜間航海実習研修

委託者 : 運輸安全委員会事務局 門司事務所

実施日 : 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○ 広報活動

(1) カレンダーの作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成配布した。

イ 規格・作成部数 A2番 カラー 200部

ロ 配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 31ページカラー 1,000部

ロ 配布先 ① 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー、マリナー等

(3) リーフレット(ライフジャケット着用キャンペーン用)作成

小型船舶操縦士の免許が必要な船舶の乗船者にライフジャケットの着用は遵守

事項として、義務化されているが、令和4年2月1日から船長に対して違反点数が付与されることになった事により、リーフレットを第七管区海上保安本部と共同で作成した。

- イ 規格作成部数 A4 コート紙90k 両面カラー 1,000部
- ロ 配布先 海上安全指導員(訪船活動時に使用)・マリーナ等。

2 小型船舶に対する安全パトロール (公益1)

○ 海上安全指導員による安全活動

(1) 海上安全パトロール (2) 海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して次のとおり指導した。

また、マリレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まで進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

① 各保安部署との合同パトロール

地 区	現場指導人数	現場指導隻数
門司・下関地区	44	12
西港地区	20	5
宇部地区	11	8
洞海地区	15	5
ひびき灘地区	13	6
有明海地区	28	6
伊万里湾地区	18	6
平戸地区	19	7
長崎地区	21	15
対馬地区	13	8
大分地区	15	10
臼杵地区	18	10
津久見地区	17	9
萩地区	5	5
長門地区	マリーナ2ヶ所	2
合 計	257人	114隻

② 当協会に所属する海上安全指導員の活動

地 区	現場指導人数	現場指導隻数
門司・下関・西港地区	92	40
宇 部 地 区	184	138
み や こ 地 区	88	66
洞 海 地 区	223	97
芦 屋 地 区	84	67
ひ び き 灘 地 区	72	24
福 岡 地 区	292	116
有 明 海 地 区	89	65
唐 津 玄 海 地 区	91	57
伊 万 里 湾 地 区	190	157
佐 世 保 地 区	125	58
平 戸 地 区	702	403
長 崎 地 区	897	634
対 馬 地 区	162	110
大 分 地 区	43	35
臼 杵 地 区	98	56
津 久 見 地 区	45	41
佐 伯 地 区	59	54
萩 地 区	204	85
合 計	3740人	2303隻

(3) 海上安全指導員連絡調整会議

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員が活動する上での問題点等について検討するとともに各地区の海上安全指導員とのコミュニケーションを図ることを目的に実施した。

実施日 : 令和3年10月7日(木)

実施場所 : 門司港湾合同庁舎 7階 会議室

出席者 : 第七管区海上保安本部 交通部 2名
各地区海上安全指導員 22名

実施内容 : (1)第七管区海上保安本部からの小型船舶の海難事故現状説明
(2)訪船活動の具体的方策について
① 訪船活動の重要性
② 訪船活動の具体的方法
(3)その他

- ① 危険個所の報告の依頼
- ② 海上安全情報の提供について

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝（公益2）

○ 海上イベントへの協力等

（1）関門港ポート天国

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

（2）ちびっ子カーニバル2021

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

（3）安全啓発グッズの作成配布

① メモ帳

1500部

海の事故ゼロキャンペーン用として、公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成した。

配布先： 会員及び各海上保安部署、安全講習会・海上安全パトロール
1434部配布した。

（4）2021九州ボートショー in 福岡

開催日： 令和3年6月5日（土）、6日（日）

場所： 福岡市ヨットハーバー特設会場

令和3年5月13日、九州ボートショー実行委員会より、新型コロナ感染拡大防止のため中止の連絡があった。

（5）西部ふれあい祭り

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究（公益1）

○調査研究受託事業

（1）船舶が輻輳する海域での小型船の動向に関する調査研究

船舶が輻輳する海域での小型船の動向に関する調査を行い、小型船舶の運航者に輻輳海域での安全運航を周知するための資料を作成し、輻輳海域での海難事故等の減少を図ることを目的に実施した。

委託者：公益社団法人西部海難防止協会

(1) 幅狭海域での小型船の海難についての解析・整理

(2) 小型船の運航実態調査

(3) 幅狭海域での小型船の安全運航資料の作成

(4) 報告書作成

A 4 版に製本した報告書 5 部及び報告書の電子媒体 (CD) 1 枚を納品した。

(2) 小型船の海難減少を図るための具体的な方策について

小型船の海難減少を図るための具体的な方策について、現状における小型船の海難の状況等の観点から、海難の減少を図るための具体的な方策について調査検討し、必要な海難減少の方策を取りまとめることを目的に実施した。

委託者：公益社団法人西部海難防止協会

(1) 小型船の海難について解析・整理

(2) 安全指導員の現状

(3) 小型船安全協会の現状とあり方

(4) 小型船の海難減少のための具体的な方策

(5) 検討会運営・資料作成

(6) 報告書作成

A 4 版に製本した報告書 5 部及び報告書の電子媒体 (CD) 1 枚を納品した。

5 小型船による災害支援活動 (公益 1)

○人命救助訓練

(1) 訓練

各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

地 区	実施回数	参加人員	参加隻数
洞 海 地 区	1	27	3
宇 部 地 区	1	22	2
長 崎 地 区	1	44	6
伊 万 里 湾 地 区	1	18	5
萩 地 区	1	23	3
合 計	5 回	134 人	19 隻

(2) 海上安全指導員用ベスト・マリンハットの貸与

海上安全指導員に対し、陸上及びイベント時に海難防止活動をする際に着用で

きるベストを作成(2カ年計画)。令和3年度は、100着作成し、安全指導員に96着貸与した。

新規海上安全指導員に対し、マリンハット5個貸与した。

6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

(1) 物品販売事業 (収益)

協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを目的として178枚を有料にて頒布した。

(2) プレジャーボート海難事故の社会心理学的原因調査及びその実践的減少対策に関する座談会

開催日	令和3年7月8日(木) (第1回)	
	令和3年11月15日(月) (第2回)	
開催場所	門司港湾合同庁舎 7階会議室	
出席者	九州北部小型船安全協会 役員	3名
	同 技術顧問	4名
	海上安全指導員	3名
	オブザーバー 第七管区海上保安本部	2名
	運輸安全委員会	
	船舶事故調査官	2名
	事務局 専務理事・事務局長・事務局員	

○ その他

関係会議への出席

令和3年6月	「宇部興産6号岸壁石炭船積載量変更に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回 「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画(施工計画)に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回 「長崎港15万GT級大型客船左舷係留に伴う航行安全対策検討部会(仮称)」	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
7月	「宇部興産6号岸壁石炭船積載量変更に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
8月	「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)

8月	「下関港長府地区3号岸壁大型貨物入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会(仮称)」第1回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
9月	「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う航行安全対策調査専門委員会」作業部会 「下関港長府地区3号岸壁大型貨物入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会(仮称)」第2回 「関門海峡橋梁計画航行安全調査専門委員会」 第1回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
10月	「宇部興産6号岸壁石炭船積載量変更に伴う航行安全対策調査専門委員会」第3回 「西海市沖洋上風力発電開発計画(仮称)に伴う航行安全対策調査委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
11月	「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う航行安全対策調査専門委員会」第3回 「関門海峡橋梁計画航行安全調査専門委員会」第2回 「令和3年度全国海難防止団体等連絡調整会議」	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (公社)日本海難防止協会 (富賀見会長・中嶋専務理事出席)
12月	「下関港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
令和4年1月	「下関港長府地区3号岸壁大型貨物入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」第3回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
2月	「西海市沖洋上風力発電開発計画(仮称)に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)
3月	「関門海峡橋梁計画航行安全調査専門委員会」第3回 「下関港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「令和3年度博多港(中央ふ頭沖～箱崎ふ頭沖)浚渫整備に伴う航行安全対策調査専門委員会(仮称)」	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席)